

きこち。

Yamane_mokuzai quarterly magazine 'Kicocchi' 2017 / Autumn

特集

樽煎餅と 木の家。



Made by
Hirayaya

Feature!

Tarusenbei and Wood house

kicocochi.

西條名物 名聲轟四海

樽煎餅

特集

樽煎餅と

木の家。

東広島市西条・酒蔵通り。
平田屋の樽煎餅は西条の定番の味として
長く親しまれている。
老舗の貫禄と親しみやすさを
併せ持つその店舗には、
巧みな和の工法と煎餅や
道具に対する家族の愛情が溢れていた。

家は、風土。
「木と暮らす。」 実例 ③

石灯笼やつくばいを配した店舗・作業所兼、住宅。店舗の1階奥と2階が住居となっている



no(ji)u

先代から譲り受けた
大切な道具と手法が
この店の財産

店舗と作業所を隔てる古いのれん。創業時から煎餅の形も味も変えることなく、のれんを守っている

地元^{ゆかり}に愛される老舗

思い^{ゆかり}に囲まれて

創業1916(大正5)年。平田屋は100年以上の歴史を持つ老舗の煎餅店だ。JR西条駅か

ら歩いて5分。この辺りは白壁の酒蔵が軒を連ねる、西条の観光地でもある。

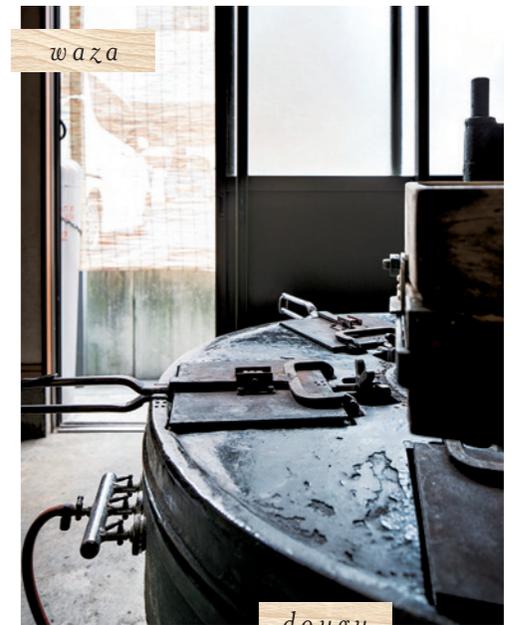
駅前開発によって平田屋がこの地に移転したのは15年ほど前。店舗と煎餅を焼く作業所、そして住まいを兼ねて建てられた。現在お店は、二代目である奥様とその娘さんが切り盛りして

いる。

通りから店内の様子がよく見えるようにと開口部を大きくとった親しみやすい店構え。知人に書いてもらったというケヤキの看板と、深い軒が店の風格を表している。書を嗜(たしな)んでいた亡夫の「味真」という作が、店と家族を見守っているようだ。



shinise



waza

dougu

